

< マニュアル訂正連絡票 >

ASP CORDEX 説明書 V22

[J2K0-1016-01]

2016年12月27日発行

修正箇所(章節項): 1.4.3.1 ポート番号と連続受信回数

旧記事

(1) ポート番号

全銀 TCP/IP 手順では、使用する TCP コネクションのポート番号が 5020 と定められている。CORDEX では特にコマンドでこの値を変更しない限り、5020 で動作する。相手機種との整合で変更する必要がある場合、トランジェントタイプの CORDEX は、STRCDXT コマンドのパラメタで変更が可能である。

レジデントタイプの CORDEX は、SETCDXTD コマンドのパラメタで変更が可能である。

新記事

(1) ポート番号

全銀 TCP/IP 手順では、使用する TCP コネクションのポート番号が 5020 と定められている。CORDEX では特にコマンドでこの値を変更しない限り、5020 で動作する。相手機種との整合で変更する必要がある場合、

レジデントタイプの CORDEX は、STRCDXT コマンドのパラメタで変更が可能である。トランジェントタイプの CORDEX は、SETCDXTD コマンドのパラメタで変更が可能である。

SETCDXTD コマンドで指定したポート番号はシステムで1つである。複数のジョブでポート番号が違うセンタと同時に接続する場合は、別ジョブの SETCDXTD コマンドで指定したポート番号になる可能性があるため、一つのジョブで順番に実行するか、それぞれのジョブを順番に実行する必要がある。

以上